

Banco Sumitomo Mitsui Brasileiro S.A. DAILY MARKET REPORT

BANCO SUMITOMO MITSUI
BRASILEIRO S.A.

マーケットサマリー

Treasury Department

祝目前19日のドルレアルスポット相場は、FOMCがハト派姿勢を強めたことでグローバルにドル売りが加速し、レアルも対ドルで急上昇。3.87台で推移していたレアル相場は一時3.83台後半までレアル高が進行した他、米国株が株高の反応を示したことでボベスパ指数も再び10万ポイントの大台に乗せとなった。FOMCは18-19日に開催した会合において、FF金利を予想通り2.25-2.50%に据え置いた一方、声明文では政策金利の判断で「辛抱強くなる」との文言を削除。力強い労働市場とインフレ率が目標に近づくことを引き続き見込んでいるしながらも、「見通しを巡る不確実性が高まった」と指摘。また、経済活動の見通しについては前回の「着実なペース」から「緩やかなペース」に下方修正された。なお、今回の政策決定は全会一致とはならず、セントルイス連銀のブレード総裁が、パウエル議長の下では初となる0.25%の利下げを主張し、反対票を投じた(これがドル売りにさらに拍車を掛けた模様)。今後の政策についても見解が分かれており、四半期毎に更新されるFOMC参加者の経済予測によると、17人のうち8人が年内の利下げを予想。8人が据え置き、1人が利上げを予想している。そして、ブラジル中銀も同日程で開催したCOPOMにおいて政策金利Selicを現状の6.50%に据え置いたが、今後の成長見通しについてはFOMC同様、「世界経済の減速に伴うリスクが依然として存在する」と指摘。加えて、ブラジル国内については財政改革進展が構造的な金利低下や持続的な景気回復にとって「不可欠である」との認識を示している。

マーケットデータ

Indicator	Unit	6月19日	6月20日	前日比	1ヶ月前比	(年初来) 高値	(年初来) 安値	
レアル	対ドル	BRL	3,8395	3,8395	0,00%	-6,33%	3,6374	4,1217
	対円	JPY	28,15	27,95	-0,71%	4,05%	30,08	26,68
	対ユーロ	BRL	4,3101	4,3101	0,00%	-5,73%	4,1646	4,6037
円	対ドル	JPY	108,10	107,30	-0,74%	-2,53%	104,87	112,40
	対ユーロ	JPY	121,36	121,17	-0,16%	-1,33%	118,71	127,50
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index	100.303	100.303	0,00%	11,46%	100.439	87.536	
CDS Brazil 5yrs	bps	154,50	150,72	-2,45%	-18,40%	209,52	148,22	
Brazil 10yrs Gov. Bond	%	7,83	7,83	0,00%	-13,92%	9,34	7,83	
DI Future Jan20 (金利先物)	%	6,09	6,09	0,00%	-5,88%	6,69	5,99	
3 Months US Dollar Libor	%	2,38613	2,34313	-1,80%	-7,09%	2,8039	2,3861	
CRB Index (国際商品指数)	Index	175,43	178,63	1,82%	-1,30%	189,68	168,26	

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート

